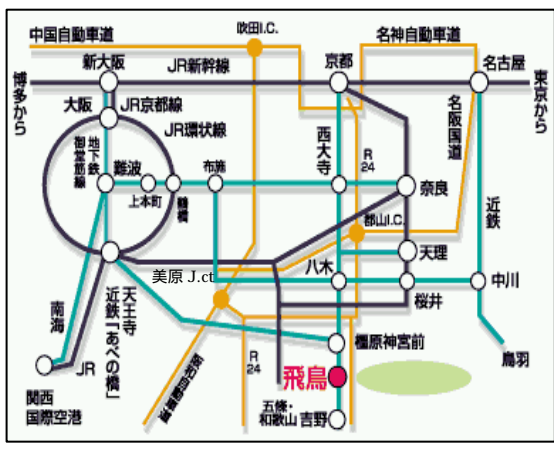



観光社会資本の事例

テーマ	日本人の心のふるさと
【施設の状況写真】	
	
<p>甘樫丘地区。飛鳥古京の集落や藤原京跡、遠くは葛城山系の展望や、万葉の植物が楽しめる「万葉の植物園路」の散策が楽しめます。</p>	<p>石舞台地区。蘇我馬子の墓と伝えられる「石舞台古墳」の周辺に広がり石舞台古墳に訪れる人々の休養・レクリエーションの場として利用されています。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>甘樫丘展望台からの展望を楽しむ観光客。</p>	<p>石舞台地区に設置された、多目的休憩所「あすか風舞台」。休養の場としての他、各種イベント会場としても活用されています。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>国営飛鳥歴史公園は昭和49年の祝戸地区の開園からスタートし、以降、石舞台地区、甘樫丘地区、高松塚周辺地区と順次整備・開園し、新たな5番目の地区としてキトラ古墳周辺地区の整備をすることとしています。飛鳥の豊かな自然と文化的遺産の保存・活用を図り、人々が集い、触れ合い、そして人と人との交流が生まれる場として「日本人の心のふるさと」を基本テーマに利用を進めています。</p>	

テーマ	日本人の心のふるさと	
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 国営飛鳥歴史公園</p> <p>所在地 奈良県高市郡明日香村大字平田538</p> <p>事業名 国営公園整備事業</p> <p>事業主体 国土交通省</p> <p>事業期間 昭和46年～</p>		
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>国営飛鳥歴史公園は、飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保護・活用に関する方策の一環として設置される歴史公園です。</p> <p>本公園は、歴史的風土を構成する上で重要な祝戸、石舞台、甘檜丘、高松塚周辺、キトラ古墳周辺の5地区で構成していますが、キトラ古墳周辺地区を除く4地区は概成開園済みであり、歴史的景観の保全や飛鳥来訪者への多様なサービスの提供を行っています。</p>		
<p>【位置図】</p>		
		
<p>電車でのアクセス</p> <p>東京方面から 新幹線利用(名古屋または京都で近鉄乗り換え) 東京 名古屋 大和八木 橿原神宮前 飛鳥 東京 京都 橿原神宮前 飛鳥</p> <p>大阪から あべの橋 橿原神宮前 飛鳥</p>	<p>車でのアクセス</p> <p>大阪 - (約46km) 飛鳥(阪和自動車道・南阪奈道。R169 経由) 京都 - (約42km) 奈良 - (約25km) 飛鳥(R24 経由)</p>	
<p>【関連ホームページ】 国営飛鳥歴史公園 http://www.asuka-park.gr.jp</p>		